

(3) 裸眼視力 1.0 未満の割合の地域比較 (図 7-1、7-2)

小学校と中学校における裸眼視力 1.0 未満の者の割合（視力矯正をしているため矯正視力のみ測定した者を含む。）を、区部と市部の地域別にみると、男女ともに全ての学年で区部が市部より高くなっている。

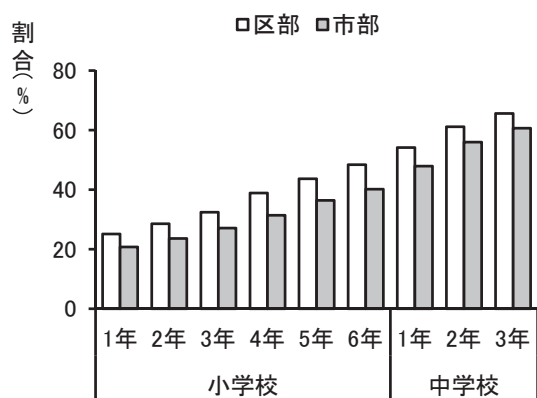


図 7-1 裸眼視力 1.0 未満及び「矯正視力のみ測定者」の学年別割合 (男子)

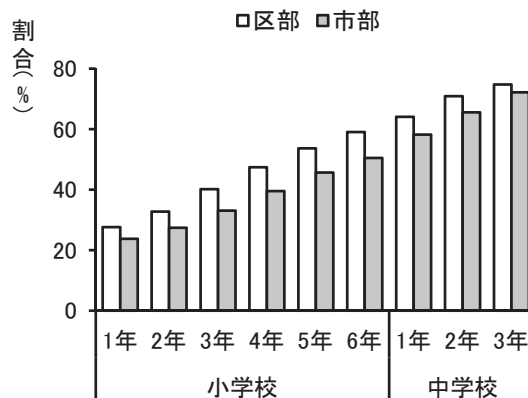


図 7-2 裸眼視力 1.0 未満及び「矯正視力のみ測定者」の学年別割合 (女子)

(4) 裸眼視力 1.0 未満の割合の年次推移 (図 8-1、8-2、表 2)

小学校第 4 学年、中学校第 1 学年及び高等学校第 1 学年について、裸眼視力を測定した者の中の裸眼視力 1.0 未満の者の割合の年次推移を男女別に示す。裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、男子に比べ、女子の方が高くなっている。平成 14 年度からは、視力矯正をしているため矯正視力のみ測定した者を含む裸眼視力 1.0 未満の者の割合を示した。

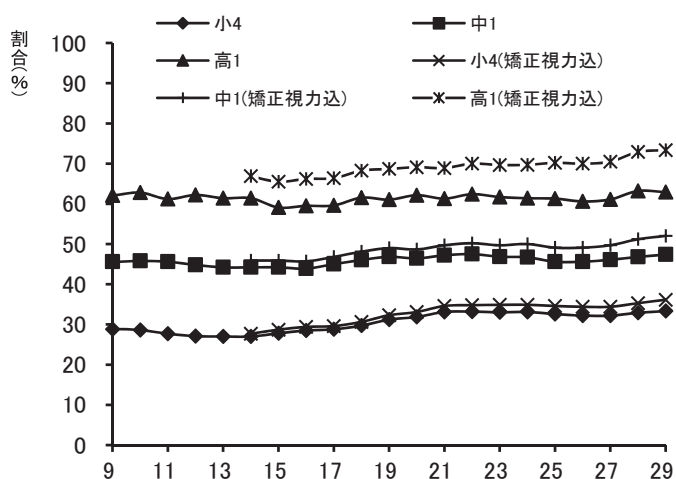


図 8-1 裸眼視力 1.0 未満の年次推移 (男子)

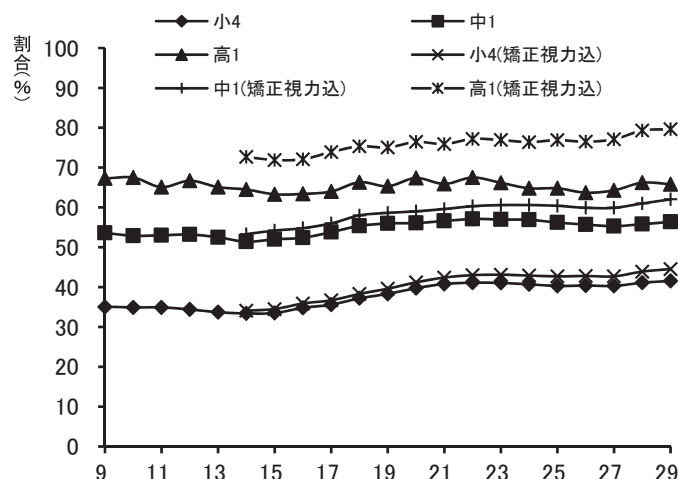


図 8-2 裸眼視力 1.0 未満の年次推移 (女子)

表2 裸眼視力 1.0 未満の年次推移 (%)

年度 (平成)	男子			女子		
	小4	中1	高1	小4	中1	高1
9	28.8	45.6	62.1	35.0	53.6	67.3
10	28.6	45.8	62.8	34.9	52.9	67.5
11	27.7	45.6	61.2	34.9	53.0	65.1
12	27.1	44.8	62.2	34.4	53.2	66.7
13	27.0	44.2	61.4	33.7	52.5	65.1
14	27.0	44.2	61.4	33.4	51.4	64.5
	27.7	45.9	66.9	34.1	53.3	72.7
15	27.8	44.2	59.1	33.5	52.0	63.3
	28.7	45.9	65.5	34.5	54.2	71.9
16	28.5	43.9	59.5	34.8	52.4	63.4
	29.4	45.7	66.2	35.9	54.8	72.1
17	28.8	45.0	59.6	35.6	53.8	64.0
	29.6	46.8	66.4	36.7	56.0	73.9
18	29.7	46.0	61.5	37.2	55.4	66.3
	30.7	48.1	68.3	38.3	58.0	75.4
19	31.2	46.8	61.1	38.3	56.0	65.3
	32.3	49.0	68.7	39.6	58.6	75.0
20	31.9	46.4	62.1	39.7	56.1	67.4
	33.1	48.7	69.1	41.2	59.0	76.4
21	33.1	47.2	61.3	40.8	56.6	65.9
	34.6	49.7	68.9	42.4	59.6	75.9
22	33.2	47.5	62.4	41.1	57.1	67.5
	34.8	50.2	70.0	43.0	60.3	77.2
23	33.0	46.9	61.7	41.1	57.0	66.2
	34.9	49.7	69.7	43.1	60.6	76.9
24	33.1	46.7	61.4	40.7	56.9	64.8
	34.9	50.0	69.7	42.9	60.6	76.4
25	32.6	45.6	61.3	40.3	56.2	64.8
	34.6	49.1	70.2	42.7	60.4	76.9
26	32.2	45.6	60.6	40.4	55.7	63.7
	34.4	49.1	70.0	42.8	59.9	76.5
27	32.2	46.1	61.1	40.3	55.3	64.3
	34.4	49.7	70.5	42.7	59.9	77.1
28	32.9	46.8	63.2	41.1	55.8	66.2
	35.3	51.2	72.9	43.9	61.0	79.3
29	33.3	47.4	62.9	41.6	56.4	65.8
	36.1	52.0	73.4	44.5	62.0	79.6

(注1) 平成14年度から本年度の上段は、裸眼視力を測定した者の中での裸眼視力1.0未満の者の割合、下段の数値は、コンタクトレンズ等装用などのため裸眼視力を測定していない者も含んだ割合である。

(注2) 太字は上段(平成9年度から平成29年度まで)、下段(平成14年度から平成29年度まで)それぞれの過去最高値である。

4 アレルギー性疾患について

アレルギー性疾患については、平成7年度からアレルギー性皮膚疾患及び気管支ぜん息の調査、平成10年度からアレルギー性眼疾患及びアレルギー性鼻疾患の調査、平成29年度からアレルギー性皮膚疾患をアトピー性皮膚炎とアトピー性皮膚炎以外に分けて調査を開始した。各疾患については、ここ1年以内にその疾患と判定された者、又は医療機関で経過観察中の者を、学校医の判定に加え保健調査や日常の健康観察により把握している。

(1) アレルギー性皮膚疾患 (図9-1-1、図9-1-2)

アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)は、全ての学年で男子の割合が女子より高くなっている。アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)は、中学校第1学年までは男子の割合が女子より高く、中学校第2学年以降は女子の割合が男子より高い。

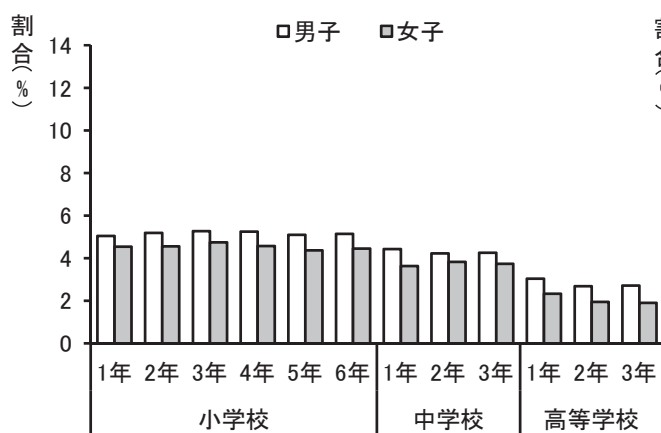


図9-1-1 アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)の学年別割合

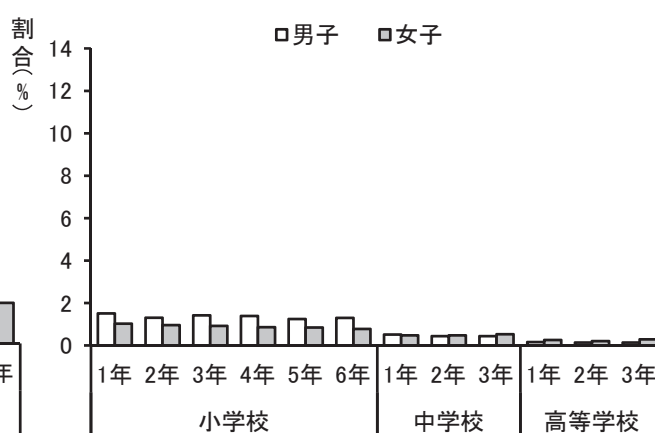


図9-1-2 アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)の学年別割合

(2) 気管支ぜん息 (図9-2)

気管支ぜん息の割合は、小学校第1学年から中学校第3学年まで男子は5%台、女子は4%前後である。高等学校ではやや低い割合となっているが、学年による大きな差異は認められない。全ての学年で男子の割合が女子より高くなっている。

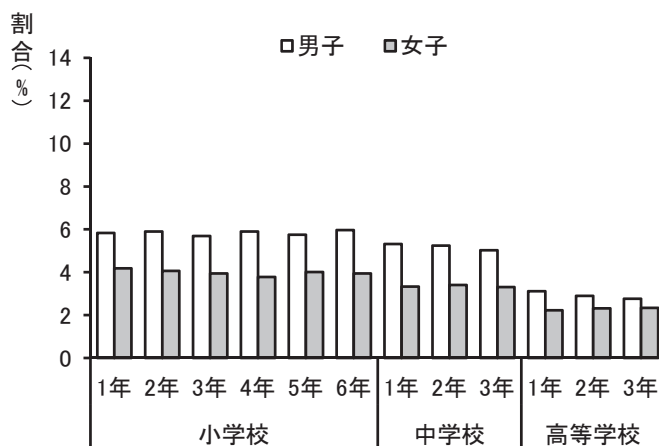


図9-2 気管支ぜん息の学年別割合

(3) アレルギー性眼疾患 (図 9-3)

アレルギー性眼疾患は、アレルギー性結膜炎、春季カタル、花粉症等で、全ての学年で男子の割合の方が女子より高くなっている。高等学校では割合が低下しているが、学年による大きな差異は認められない。

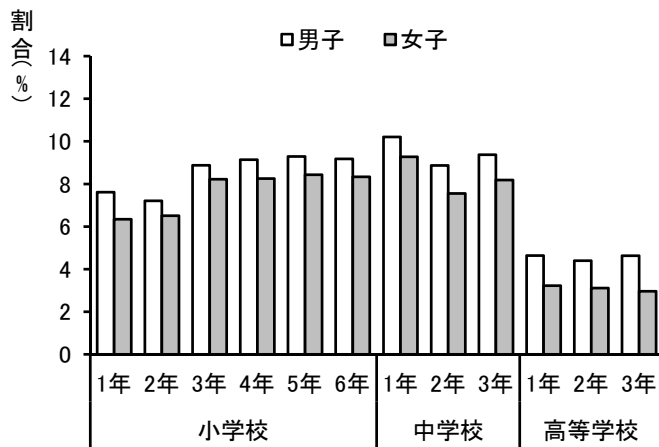


図 9-3 アレルギー性眼疾患の学年別割合

(4) アレルギー性鼻疾患 (図 9-4、図 10)

アレルギー性鼻疾患は、アレルギー性鼻炎、花粉症等で、全ての学年で男子の割合が女子より高くなっており、その傾向は小学生と中学生において顕著である。

また、図 10 に示すように、アレルギー性鼻疾患が特に中学生において割合が高くなっているのに対し、その他の各耳鼻咽喉科疾患の割合は学年が進むに従って低下傾向にある。

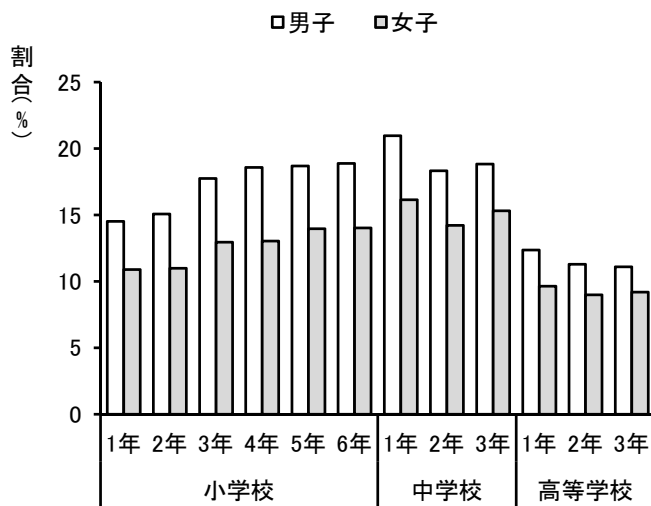


図 9-4 アレルギー性鼻疾患の学年別割合

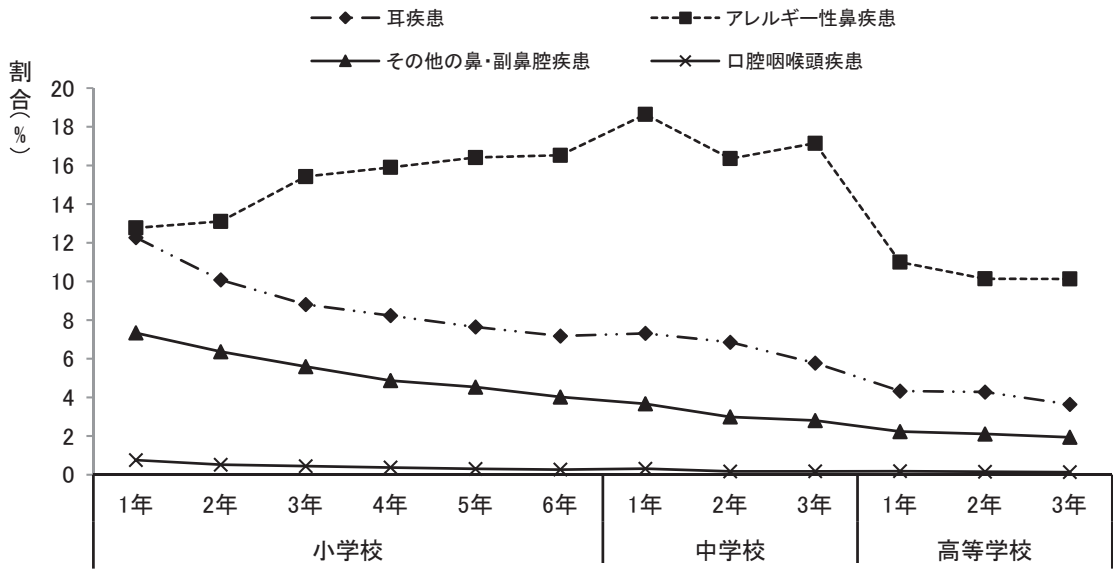


図 10 耳鼻咽喉科疾患の学年別割合

(5) 地域比較 (図 11-1-1~11-5-2)

アレルギー性皮膚疾患、眼疾患及び鼻疾患は、男女ともに、区部に比べ市部で被患率が高い傾向がみられる。

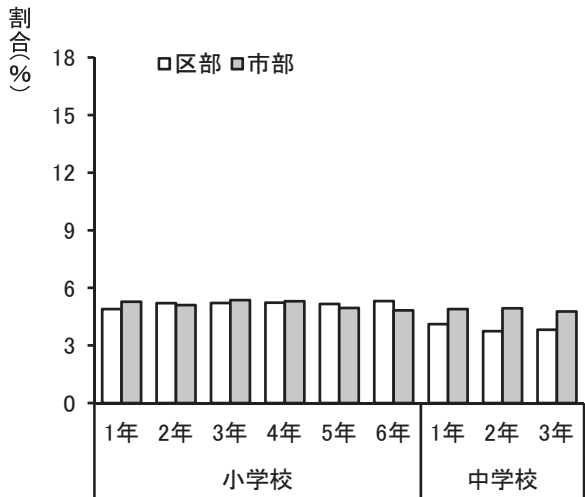


図 11-1-1 アレルギー性皮膚疾患 (アトピー性皮膚炎) の地域比較 (男子)

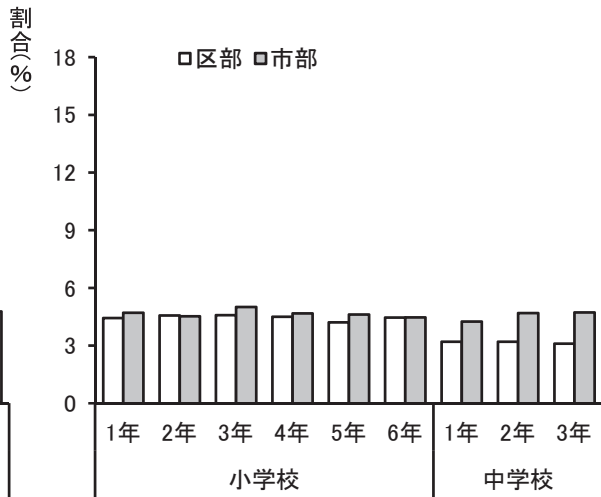


図 11-1-2 アレルギー性皮膚疾患 (アトピー性皮膚炎) の地域比較 (女子)

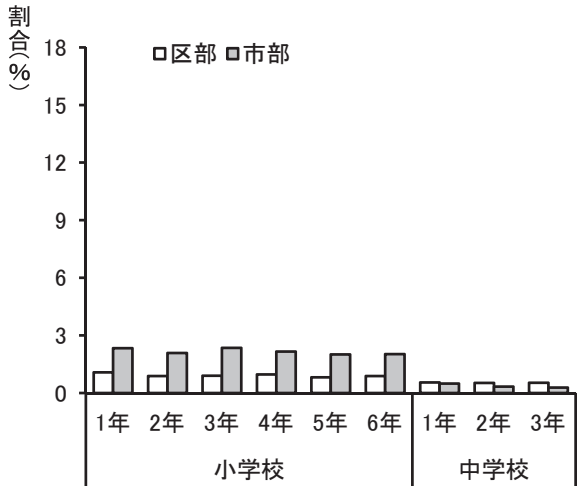


図 11-2-1 アレルギー性皮膚疾患 (アトピー性皮膚炎以外) の地域比較 (男子)

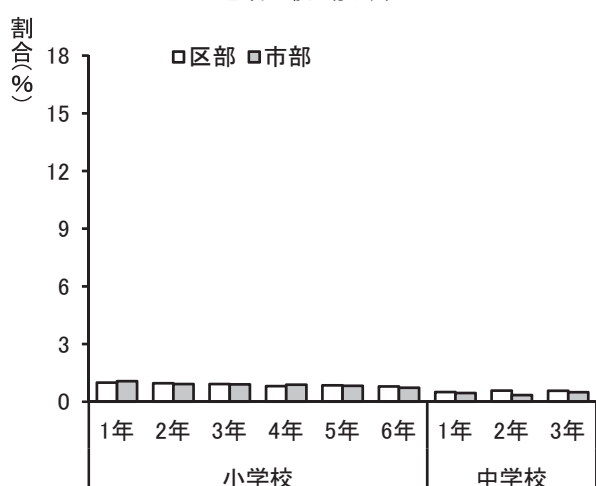


図 11-2-2 アレルギー性皮膚疾患 (アトピー性皮膚炎以外) の地域比較 (女子)

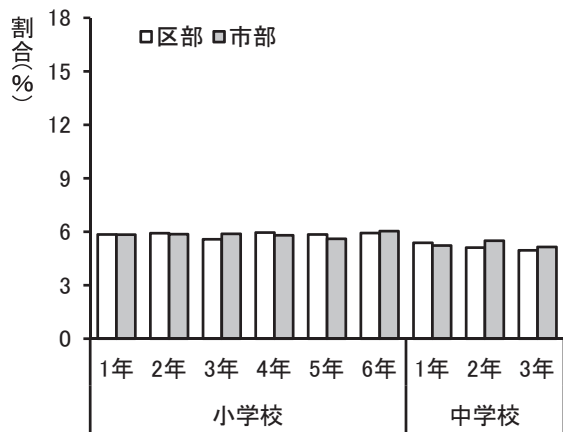


図 11-3-1 気管支ぜん息の地域比較 (男子)

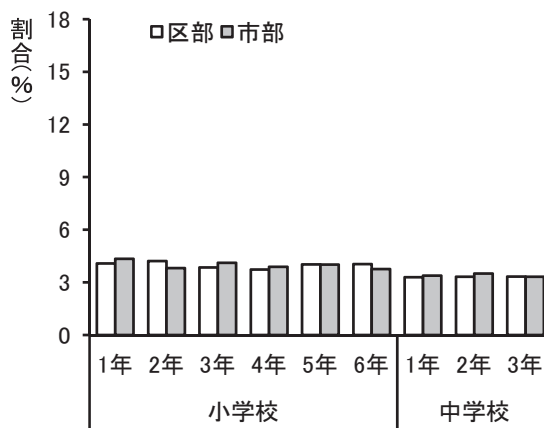


図 11-3-2 気管支ぜん息の地域比較 (女子)

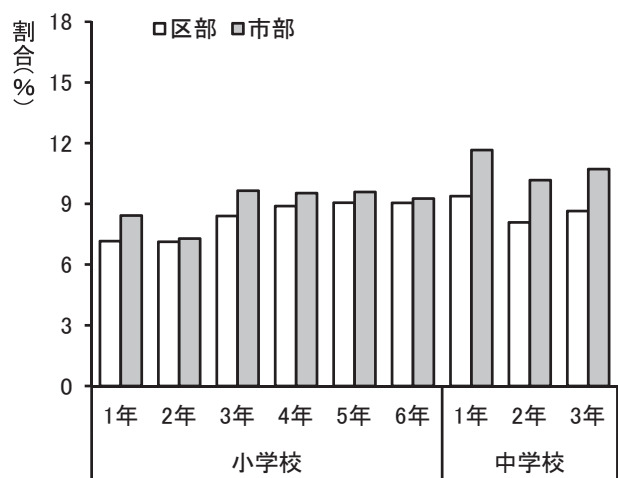


図 11-4-1 アレルギー性眼疾患の地域比較 (男子)

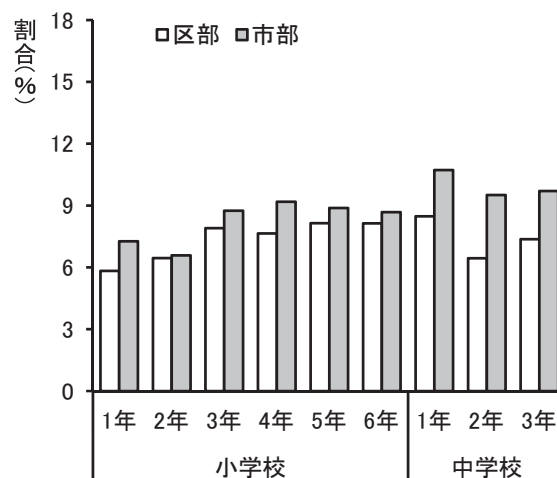


図 11-4-2 アレルギー性眼疾患の地域比較 (女子)

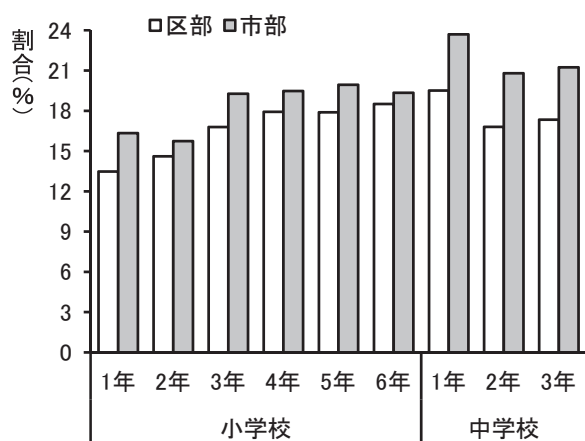


図 11-5-1 アレルギー性鼻疾患の地域比較 (男子)

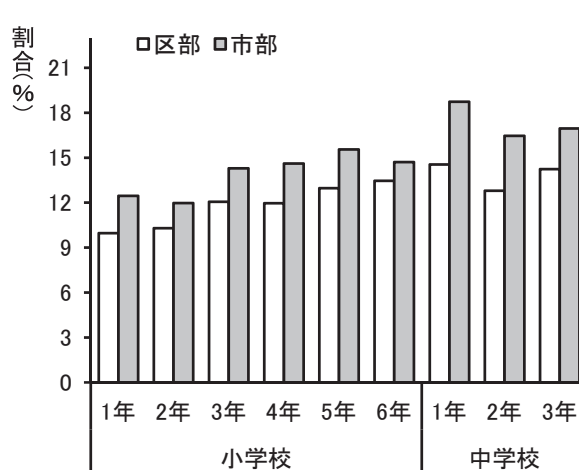


図 11-5-2 アレルギー性鼻疾患の地域比較 (女子)

5 歯科疾患について

(1) むし歯（う歯）について

ア むし歯（う歯）被患率について（表3、図12、図13、図14、図15）

むし歯（う歯）被患率とは、むし歯（治療済みのむし歯を含む。）のある者の割合である。本年度のむし歯被患率は、小学校 41.05%、中学校 36.22%、高等学校 47.73%であり、経年的には減少傾向が続いている。

小学校及び中学校における、永久歯のむし歯（う歯）のある者の率も、年々減少している。また、むし歯（う歯）被患率を年齢別にみると、17歳（高等学校第3年）が52.88%と最も高くなっている。また、7歳（小学校第2学年）以降、処置完了者の割合は、未処置歯のある者の割合を上回っている。

なお、むし歯（う歯）被患率は永久歯だけでなく、乳歯も合わせて集計している。図13にて11歳の段階で被患率が減少するのは、乳歯から永久歯への生え変わりの影響によるものと考えられる。また、小学校の地域別のむし歯（う歯）被患率を図14に、中学校の地域別のむし歯（う歯）被患率を図15にそれぞれ示す。

表3 むし歯（う歯）被患率の年次推移

年度 (平成)	小学校			中学校			高等学校		
	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子
9	80.21	80.13	80.30	82.60	80.52	84.95	88.82	87.42	90.32
10	77.94	78.06	77.81	81.07	78.94	83.45	88.46	86.97	90.03
11	75.68	75.79	75.57	79.04	76.74	81.59	86.86	84.82	88.97
12	72.59	72.89	72.26	75.18	72.56	78.11	83.38	81.57	85.24
13	70.01	70.59	69.40	72.13	69.37	75.18	82.62	80.78	84.46
14	68.26	68.79	67.70	69.28	67.16	71.61	80.44	79.00	81.87
15	66.32	67.06	65.54	65.48	62.93	68.29	78.75	76.35	81.12
16	64.30	65.00	63.55	63.51	61.17	66.09	74.76	73.01	76.50
17	62.74	63.61	61.81	61.24	58.78	63.96	73.25	70.61	75.87
18	61.07	62.12	59.94	59.22	56.90	61.79	69.26	66.54	71.92
19	59.48	60.81	58.06	56.94	54.55	59.58	66.41	64.30	68.45
20	57.28	58.74	55.73	54.68	52.15	57.48	63.87	61.47	66.25
21	55.31	56.69	53.83	52.31	49.95	54.92	61.19	59.23	63.11
22	52.59	54.04	51.05	49.92	47.39	52.70	60.02	57.54	62.44
23	51.17	52.55	49.70	48.24	46.01	50.70	58.67	56.44	60.83
24	49.31	50.61	47.91	45.82	43.99	47.84	57.93	55.66	60.11
25	47.86	49.27	46.36	43.07	41.19	45.14	55.31	53.12	57.43
26	45.81	47.06	44.47	40.69	38.80	42.76	53.68	51.37	55.94
27	44.06	45.52	42.50	39.03	37.16	41.07	51.12	49.13	53.07
28	42.36	43.98	40.63	37.70	35.92	39.63	49.29	47.34	51.21
29	41.05	42.57	39.43	36.22	34.41	38.18	47.73	45.47	49.96